

【概要・目的】

- ・医療に関する裁判例を検討する。
- ・具体的な裁判例を題材に、法的問題の所在を示し、対立する利益を明らかにして望ましい解決を模索していくことで、紛争における法的問題点を理解できるようになること、法的なものの考え方を理解できるようになることを目的とする。

【到達目標】

- ・紛争事案において法的に問題点を整理することができる。
 - ・法的なものの考え方ができる。
-

【授業内容・スケジュール】

- 第1回 ガイダンス
 - 第2回 医療に関する裁判例研究
 - 第3回 医療に関する裁判例研究
 - 第4回 医療に関する裁判例研究
 - 第5回 医療に関する裁判例研究
 - 第6回 医療に関する裁判例研究
 - 第7回 医療に関する裁判例研究
 - 第8回 医療に関する裁判例研究
 - 第9回 医療に関する裁判例研究
 - 第10回 医療に関する裁判例研究
 - 第11回 医療に関する裁判例研究
 - 第12回 医療に関する裁判例研究
 - 第13回 医療に関する裁判例研究
 - 第14回 医療に関する裁判例研究
 - 第15回 まとめ
-

【評価】

レポート発表の内容（70%）、ディスカッションへの参加態度（30%）により評価。

【テキスト】

- ・甲斐克則・手嶋豊編『医事法判例百選〔第3版〕』（有斐閣, 2022）
-

【推薦参考図書】

- ・授業の中で適宜紹介。
-

【その他】

授業は、十分な事前学習を前提に進行し、講義（双方向を意識したもの）、ゼミ形式による担当者の発表（原則、偶数回目の授業）、ディスカッションの方法によるものとする。事前学習として、授業で取り上げる裁判例に関する事案の内容、法的論点、関連裁判例、実務上の取扱いなどについて、判決文、関連条文、テキスト、参考文献などを確り読み込んで整理し、発表の準備をしておくことが求められる。また、事後の学習として、授業内容を復習整理し、紹介さ

れた参考文献などで理解を深めることが求められる。